



OCTOBER

おかむら通信 第114号

平成26年10月



ごあいさつ

9月には、全国で、相変わらず何かおかしいことが起こり続けています。やはり、天が人間の為す行いに警告を発しているようにも思えます。

これから地震は以前より多発するでしょう。何故なら日本はこれから地震の活動期に入ってゆきます。それならば、われわれ日本人のすべきことはなんでしょう。まだまだ幸せには直結するとは言えないゆがんだ文明を推し進め自然に逆らうことでいいのでしょうか？ 人間の持つ「悪」の面が地球上にあふれかえっているように見えます。このままでは地球は滅ぶことになるでしょう。どうにかしなкゃ。

今月の言葉コーナー

「自分の過ちを認めるほど難しいものはない。事態を解決に導くには、素直に自分の過ちを認めるのが何よりである。」

ベンジャミン・デイズレーリ (イギリスの政治家)

病気について

① 肥満

とっても難しい課題。人がいままで何千回処方箋を作ってもほとんど解決しなかった問題です。何がそうさせてるのでしょうか？

ある精神科のドクターが言うには、精神疾患の一つとみなして治療しています。

みなさま、どう思いますか？

② 頸動脈検査について

まだ、理解されておられない方々のために；実は気軽に受けられて簡単ですぐ終わる検査なのですよ。そして様々な病気の発症が予測できる大変意味のあるものですよ。

③ とてもお得なお薬です

診察室でも、今月からみなさまに処方しているお薬があります。とってもよく効く薬です。外国の研究者が発表したものです。お金がかかりません。副作用もありません。

薬の名前は、「30分歩く毎日」です。

将来の糖尿病、高血圧、脳梗塞、心臓病、うつ病などにとっても効くそうです。だまされたと思って実行してみてください。効果は抜群です。

④ 本当に目からうろこでした。俗にいう早期発見とは違いますが、どこかの病院にいてドックや検診を受けて病気をみつけるということではありません。医師が自らあらゆる経験をもとにして、来院時、初診の患者さんを見て、検査などする前に、その時の病気、これからおこりうる病気を積極的に予測し診断をすることを言います。いわゆる未病の段階と言うのかな？ 今回のドクターツアーで得たことです。





一般論

⑤ よく言われる自己責任（論）について

どこかの国が、よく言ってますね。国民は、自分のことは自分で、責任を取り、人に（この場合は 国にという意味です）頼るな。また某ご婦人が「なにかあれば一人でも働いていける意思が日本女性に欠けている」とも。今の女性たちの平均賃金や働く環境がどんなにかきついものになりつつあるか、まったくご存じないようですね。

*マレーシア（クアラルンプール、ペナンが主）でのドクターツアーの様子をご紹介します。3回シリーズでそろそろ2回目の掲載が始まります。ごらんください、そしてみなさまのご意見もいただけるとありがたいです。

*インフルエンザと肺炎球菌ワクチン接種を開始いたしました。受付にお申し出ください。

9月の院長の活動紹介

6/ マレーシア・ノッテインガム大学薬学部学生 Yeshmita B.さん 当院見学

Dear Dr.Okamura,

I would like to thank you very much for having us visit the clinic during my stay in Japan. I had a wonderful time, and gained so much from the experience. Was lovely speaking to you and getting a tour with all the advanced medical equipment.

Arigatou gozaimasu

As said: Seeing something once is better than hearing about it a hundred times. (百聞は一見にしかず、という意味です。私がお教えしました。)

Best regards,

Yeshmita

30/ 松戸市生活支援課と面談

*先月は、私の都合（仙骨亀裂骨折、腰椎圧迫骨折）のため、院外の活動を控えさせていただきました。

急に秋らしくなり 気温の変化に
体について行きません。

皆様、体調にお気をつけて下さい。

そして、食欲の秋

自己管理をしっかりと!!

気をつけた... もの... 反省...
担当 森でした。

